



# すすめるけん

県がすすめている取り組みを紹介します！

## 長崎県の日本遺産をご存じですか

日本遺産とは、地域の持つ歴史的な魅力や特色を通じて、我が国の文化・伝統を語るストーリーとして文化庁が認定するものです。本県には九州で最も多い4件の日本遺産があり、これらを文化・観光・物産など地域の活性化につなげていく取り組みを進めています。

### 長崎県の日本遺産

#### 国境の島 壱岐・対馬・五島

～古代からの架け橋～

長崎の島は、古代から日本と大陸を結ぶ海上交通の要であり、遣唐使や朝鮮通信使などさまざまな交易・交流・外交の歴史の舞台となってきました。「国境の島」ならではの融和と衝突を繰り返しながらも、交流が続く2300年に及ぶ壮大なストーリーが人々を魅了します。



原の辻遺跡(壱岐市)

#### 鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴

～日本近代化の躍動を体感できるまち～

明治期の日本は、近代国家として西欧列強に負けないように、海防力を備えるため、国から4つの都市が選ばれ、旧日本海軍の拠点として「鎮守府」が置かれました。水道、鉄道などが整備され、日本の近代化を推し進めました。今なお現役で稼働する施設も多くあります。



旧佐世保無線電信所(針尾送信所)

#### 日本磁器のふるさと 肥前

～百花繚乱のやきもの散歩～

九州北西部の「肥前」地域では、陶石、燃料(木々)、水(川)などに恵まれ、日本磁器が誕生しました。各産地で独自の文化が育まれ、その製品は日本の暮らしの中に磁器を浸透させています。この地では、歴史と伝統が培った技術や景観を五感で感じることができます。



波佐見焼

#### 砂糖文化を広めた長崎街道

～シュガーロード～

江戸時代、海外貿易の窓口であった長崎と小倉を結ぶ長崎街道「シュガーロード」沿いの地域には、砂糖や外国由来の菓子が多く入り、独自の食文化が花開きました。その後も400年以上にわたって発展し続ける砂糖や菓子文化に触れることができます。



諫早おこし

※各遺産の構成文化財や所在地については、県のウェブサイトをご覧ください

#### TOPICS

日本遺産の日(2月13日)に合わせて、県庁などでパネル展を開催しました。また、県外においても、日本遺産に認定されている各地域の団体による「日本遺産サミット」への参加などを通して、本県の日本遺産をPRしています。



## おぢか海旅 マリンサポート

(小値賀町)



お話を伺ったのは  
代表

やまもとゆきお  
山本幸生さん

## ダイビングに魅了され 小値賀にUターン

高校卒業後、滋賀県で働いていたのですが、趣味でダイビングを始めたところ、その魅力に引き込まれ、生まれ育った小値賀でダイビング事業を始めたいと思うようになりました。滋賀県のダイビングショップに5年程勤めた後、2018年12月から観光ダイビング事業を行う地域おこし協力隊として小値賀町にUターンし、2020年4月にダイビングショップ「おぢか海旅マリンサポート」を開業しました。

※地域おこし協力隊は2021年12月に卒業



小値賀町笛吹郷にあるショップ。ダイビング教育機関PADIの正規登録店



サンゴやさまざまな魚の群れを見ることができる

## 知られていないことが 小値賀の海の魅力

当ショップでは、ライセンス保持者を対象としたファンダイビング、ライセンスを取得するためのダイビングスクールなど、目的とレベルに応じたメニューを用意しています。小値賀のダイビング事業は、2020年2月に宇久小値賀漁協から承認されたばかりなので、まだほとんどのダイバーが潜っていない「未開拓の海」です。それが一番の特徴であり、魅力だと思います。



県内で頑張っている企業や人にエール(応援)を送ります!

## ダイビングを 新しい観光資源に

小値賀の海は、アジやブリ、ヒラマサなど回遊魚の群れに遭遇したり、ダイナミックな地形が楽しめるほか、中世の陶磁器や碇石などが沈み、古くから貿易港として栄えた小値賀の歴史をうかがうことができるスポットもあります。感動がいっぱいの小値賀の海をもっと多くの方に知っていただくため、趣味の水中カメラで撮影した写真をウェブサイトやSNSで発信しています。今まで小値賀を知らなかった人たちにもダイビングを通して小値賀の自然を肌で感じてほしいと思っています。



水中で記念撮影



まだほとんどのダイバーが  
潜ったことのない小値賀の海には、  
新しい感動と発見が待っています